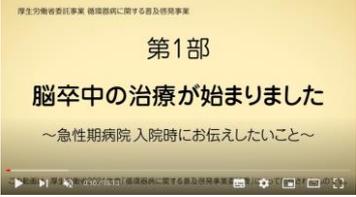
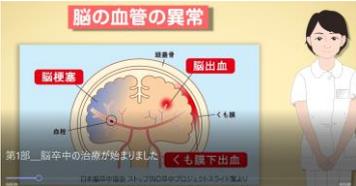
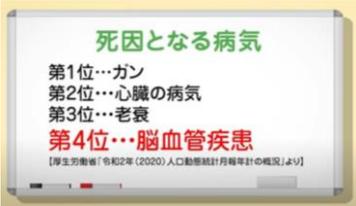
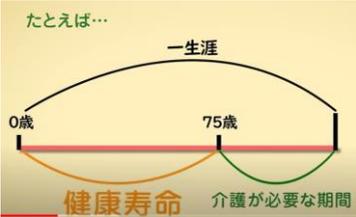
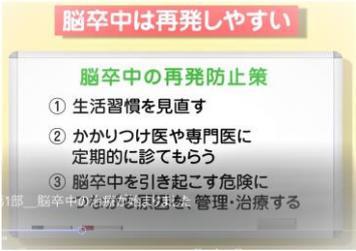
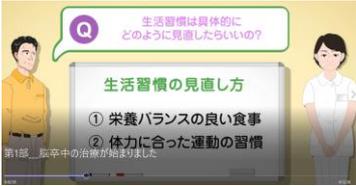
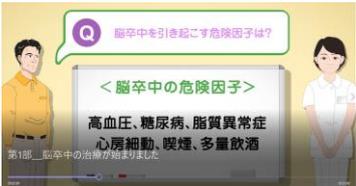
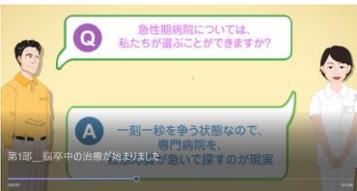
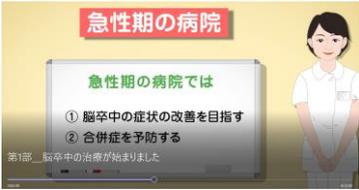
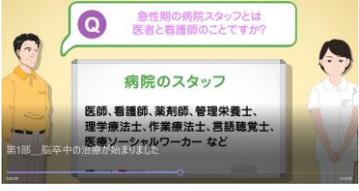
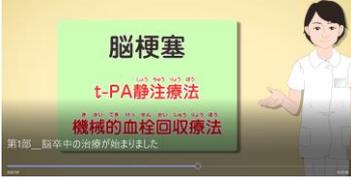
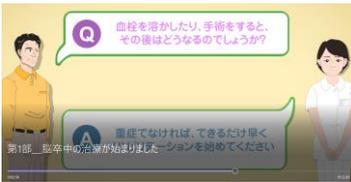


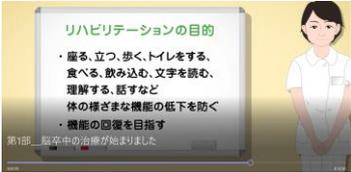
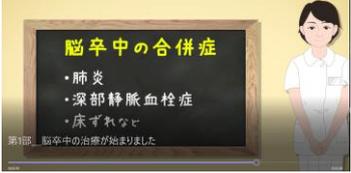
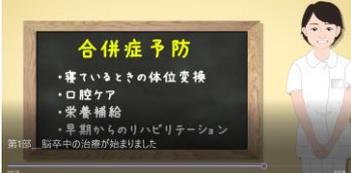
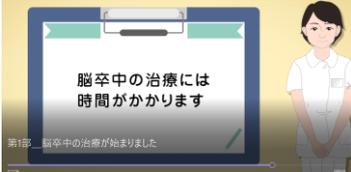
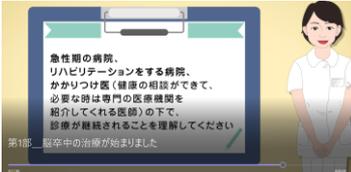
映像	内容
	<p style="text-align: center;">第1部</p> <p style="text-align: center;">脳卒中の治療が始まりました ～急性期病院入院時にお伝えしたいこと～</p> <p style="text-align: center;">*左端の数字は、開始からの経過時間を示しています。</p>
   	<p>-0分40秒</p> <p>看護師 こんにちは。看護師の田中です。 今、入院・治療中の、脳卒中という病気について、お話をしたいと思います。</p> <p>脳卒中は、脳の血管の異常によって起こる病気です。 その脳の血管の異常は、大きく次の2つに分かれます。</p> <p>まず一つめは脳梗塞。これは脳の血管が詰まってしまう状態です。 そして、脳の血管が破れるものが2つめ。それが脳出血とくも膜下出血です。 詰まると破れる、これが脳卒中だというふうに理解して下さい。</p> <p>-1分28秒</p> <p>現在、私たちが死亡する原因となる病気としては、脳卒中は、令和2年の統計では、ガン、心臓の病気、老衰に次いで、4番目に多い病気です。</p> <p>でも、健康寿命を損ねるという点では、一番怖い病気なんです。</p> <p>健康寿命とは、私たちが、健康に関することで悩まされることなく、日常生活を送れる期間のことです。たとえば、元気だった人が、75歳の時から介護が必要になるとすると、その方の健康寿命は、75年だったということになります。</p>

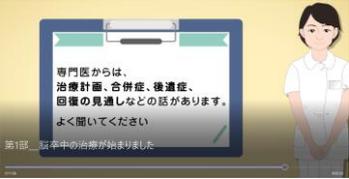
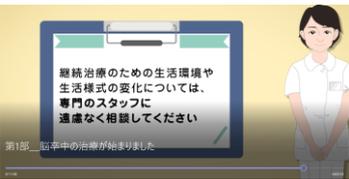
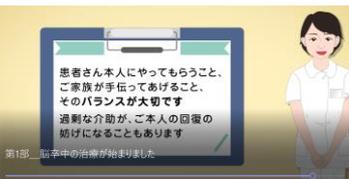
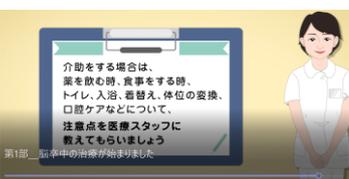
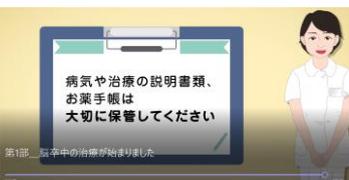
映像	内容
	<p>-2分15秒</p> <p>看護師 一度、脳卒中に襲われても、適切な治療をすると、回復に向かうケースは少なくありません。でも、再発する可能性が高いのが、この病気の厄介なところです。</p> <p>では、再発を防ぐには、どうすればいいか、といいますと、まず、生活習慣を見直すこと。そして、何でも相談できて必要な時には専門医や専門医療機関に紹介してくれる身近な地域のかかりつけのお医者さんや、専門医に、定期的に見てもらってください。そして、脳卒中を引き起こす危険につながる原因を、お医者さんと一諸に管理、治療すること、これが大切なんです。</p> <p>-3分7秒</p> <p>患者 あの、お聞きしてもいいでしょうか。</p> <p>看護師 はい、何でしょう？</p>
	<p>患者 生活習慣を見直す、とおっしゃいましたが、具体的には、どうすればいいのでしょうか。</p> <p>看護師 まず、毎日の食事です。塩分や脂肪分の摂り過ぎに注意して、栄養バランスのいい食事に心がけて下さい。それから、体力に合った運動をする習慣も大切です。</p>
	<p>-3分38秒</p> <p>患者 わかりました。</p> <p>それと、脳卒中を引き起こす危険につながる原因とおっしゃいましたが、それはどういう…。</p> <p>看護師 あ、それをご説明しないとイケませんね。それは、高血圧、糖尿病、脂質異常症、不整脈の一種である心房細動、喫煙、それから、多量飲酒です。</p> <p>患者 なるほど。わかりました。</p>

映像	内 容
	<p>-4分8秒</p> <p>看護師 再発予防に心がけていても、再発することもあります。そこで、「あれ?何だかおかしい、脳卒中かも?」と思ったら、ご本人でも家族の方でも構いません、迷わずすぐに119番して下さい。</p> <p>できるだけ早く専門的な治療を受けることができれば、命を救い、脳卒中の症状を軽くすることができます。</p>
	<p>-4分45秒</p> <p>看護師 では次に、脳卒中になってしまい、救急車で運ばれた時のお話をしましょう。</p> <p>救急車が脳卒中の患者さんを運んだ病院、そこでは、患者さんの命を救い、また脳卒中の症状に対処するために、緊急の処置が行われます。</p> <p>今、皆さんがいるこの病院のことを、急性期の病院といいます。</p>
	<p>-5分13秒</p> <p>患者 あのう、少しお尋ねしてもよろしいでしょうか。</p> <p>看護師 はい、どうぞ。</p> <p>患者 その急性期の病院というのは、私たち、患者が「〇〇病院に運んで下さい」という具合に、希望する病院を選ぶことができますんでしょうか。</p> <p>看護師 なるほど。できれば、患者さんのご希望を叶えたいところですが、なにしろ、患者さんの状態は、一刻一秒を争う状態なので、それはなかなか難しいのです。脳卒中に対処することができて、受け入れ可能な専門病院を救急隊員が急いで探す、というのが現実なんです。</p> <p>患者 なるほど、わかりました。</p>

映像	内容
	<p>-6分1秒</p> <p>看護師 急性期の病院では、今、皆さんがそうであるように、まず、脳卒中の症状を改善するための処置を行います。 そして、脳卒中が再発しないようにする治療や、合併症、これは、脳卒中になったことによって引き起こされる他の病気ことですが、この合併症を予防する処置が行われます。</p> <p>そうした治療によって、患者さんが、脳卒中になる前の生活を取り戻せるよう、病院のスタッフが、頑張るわけです。</p>
	<p>-6分40秒</p> <p>患者 あおう、その病院のスタッフというのは、お医者さんと看護師さんのことですか。</p> <p>看護師 もちろん、医師と看護師は大切な役割を担うスタッフに違いありません。でも、それだけではないのです。 お薬の専門家である薬剤師、食事の専門家である管理栄養士、座る、立つ、歩くなどの運動の訓練をする理学療法士、着替えやお手洗い、家事などの日常の動作の訓練をする作業療法士、話す、聞く、食べるといった訓練をする言語聴覚士、治療に伴う様々な相談に対応する医療ソーシャルワーカー、こういった人たちが、一つのチームになって、患者さんの回復や、社会復帰をサポートするのです。</p> <p>患者 わかりました。</p>
	<p>-7分58秒</p> <p>看護師 では、そのような急性期の病院に、患者さんが運ばれてきた時、まず第一に、どのような治療をするのか、このこともぜひ知っておいて下さい。</p>

映像	内容
 	<p>-8分13秒</p> <p>まず、血管が詰まってしまう脳梗塞の場合、血管には決戦、つまり血の塊があって、血液の流れを悪くしているのですが、この血栓を溶かすために、t-PA という薬の注射による治療を行う場合があります。</p> <p>または、カテーテルという細い管を脳の血管に通し、血栓を回収して詰まった血管を再び開通させる治療を行う場合もあります。これらの治療を1分でも早く受けることで後遺症が減りますので、急いで専門病院に患者さんを連れて行くことが必要なんです。</p>
 	<p>-9分2秒</p> <p>次に、脳出血の場合ですが、多くの場合、破れ出た血液が、脳の中でひとかたまりになっています。これを血腫といいます。</p> <p>この血腫が大きい場合は、外科的な手術によって、取り除くことがあります。</p> <p>また、くも膜下出血の場合、動脈瘤といって、出血しているところが瘤（こぶ）のようにになっていることが多いのですが、これをクリップで止めたり、動脈瘤そのものを塞いでしまう処置を行います。</p>
	<p>-9分42秒</p> <p>患者 あもう、またお尋ねしてもいいでしょうか。</p> <p>看護師 はい、何でしょう？</p> <p>患者 今、お話をされたような、血栓を溶かすとか、手術をすると、その後は、どうなるのでしょうか。</p>
	<p>看護師 脳卒中を発症して、1週間から10日ほどの期間は、とても不安定な時期なので、重症で呼吸や血液循環が不安定な場合は安静が必要ですが、そうでなければ、できるだけ早くリハビリテーションを始めます。安静にしすぎると、筋力が弱り、関節が固くなり、合併症を起こしやすくなるからです。</p> <p>患者 わかりました。</p>

映像	内容
 <p>リハビリテーションについて</p> <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>-10分37秒</p>
 <p>リハビリテーションの目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座る、立つ、歩く、トイレをする、食べる、飲み込む、文字を読む、理解する、話すなど ・体の様々な機能の低下を防ぐ ・機能の回復を目指す <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>看護師 リハビリテーションの目的は、座る、立つ、歩く、トイレをする、食べる、飲み込む、文字を読む、理解する、話すなどが、できなくなるのを防いだり、そうした機能を回復させるのが目的です。</p> <p>つまり、元の日常生活に戻れるよう、また少しでも元の状態に近づけるように練習する、それがリハビリテーションです。</p>
 <p>脳卒中の合併症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肺炎 ・深部静脈血栓症 ・床ずれなど <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>-11分17秒</p> <p>それと、先ほど、合併症のお話をしましたが、脳卒中の合併症は、肺炎などの感染症、足の血管がつまる深部静脈血栓症、床ずれなどです。</p>
 <p>合併症予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝ているときの体位変換 ・口腔ケア ・栄養補給 <p>・早期からのリハビリテーション</p> <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>そうした合併症を予防するためにも、寝ている時の体位の変換、口の中を清潔にする口腔ケア、栄養補給、そして早い時期からのリハビリテーションを行います。</p>
 <p>患者さんご家族へのお願い</p> <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>-12分0秒</p> <p>最後に、今回のお話のまとめとして、患者さんご家族の方へお願いしたいことをお話します。</p>
 <p>脳卒中の治療には時間がかかります</p> <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>脳卒中は、リハビリテーションの期間を含めて、治療に長い時間がかかる病気です。</p>
 <p>急性期の病院、リハビリテーションをする病院、かかりつけ医(健康の相談ができて、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる医師)の下で、診療が継続されることを理解してください</p> <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>そのため、急性期の病院、集中的なリハビリテーションをする病院、そして退院してからは、健康の相談ができて、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる、かかりつけ医のもとでの治療と、診療が継続することを理解しておいて下さい。もし、かかりつけ医がない場合、ご紹介も可能です。</p>

映像	内容
 <p>専門医からは、治療計画、合併症、後遺症、回復の見通しなどの話があります。よく聞いてください</p> <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>-12分52秒</p> <p>脳卒中を専門とする医師からは、治療の具体的な計画の話、それから合併症の話、後遺症の話、さらには回復の見通しなどの話があります。</p> <p>話をよく聞いて、わからないことは遠慮なく質問して下さい。</p>
 <p>継続治療のための生活環境や生活様式の変化については、専門のスタッフに遠慮なく相談してください</p> <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>-13分16秒</p> <p>治療の途中で、別の病院に移ったり、退院して自宅で治療を続けることが少なくありません。</p> <p>そんな時、療養の環境や生活様式がどのように変わるのか、専門のスタッフとあらかじめ、よく相談して下さい。専門のスタッフとは、医療ソーシャルワーカーと呼ばれる人や、退院の支援をする看護師などです。</p> <p>そうした人たちが、ほとんどの病院に配属されていますので、気軽に遠慮なく相談して下さい。</p>
 <p>患者さん本人にやってもらうこと、ご家族が手伝ってあげること、そのバランスが大切です。過剰な介助が、ご本人の回復の妨げになることもあります</p> <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>-13分57秒</p> <p>それから、これは特にご家族の向けてのお話ですが、リハビリテーションの期間中などは、患者さんご自身ができることと、介助が必要なこと、それぞれについて、担当の医療スタッフに確認して下さい。</p> <p>過剰な介助が、ご本人の回復の妨げになることもあるからです。</p>
 <p>介助をする場合は、薬を飲む時、食事をする時、トイレ、入浴、着替え、体位の変換、口腔ケアなどについて、注意点を医療スタッフに教えてもらいましょう</p> <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>介助をする場合、薬を飲む時、食事をする時、トイレ、入浴、着替え、体位の変換、口腔ケアなどについて、注意点を教えてもらいましょう。</p>
 <p>病気や治療の説明書類、お薬手帳は大切に保管してください</p> <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>入院中に受け取る診療の書類とお薬手帳は大切に保管して下さい。転院する病院でも必要になります。</p>
 <p>一般社団法人 日本脳卒中学会 JSICS 公益社団法人 日本脳卒中協会 JSA</p> <p>第1部 脳卒中の治療が始まりました</p>	<p>以上、今、入院されている、急性期の病院での治療、それから、今後のことについて、お話をいたしました。治療が進んで、一日でも早く回復されますことを、お祈りしています。</p>